

## 日本列島沿岸におけるムツおよびクロムツの 分布および生育海域の探索

系井史朗・中島彩奈・末永朱・大力圭太郎(日大生物資源)・  
秋元清治(神奈川水技セ)・明神寿彦(高知水試)・高井則之・  
吉原喜好・杉田治男(日大生物資源)

【目的】ムツ *Scombrops boops* およびクロムツ *Scombrops gilberti* は日本列島沿岸に生息する近縁種で、形態的特徴が酷似する。そのため、市場でも両種は区別されず、その生態は不明な点が多い。発表者らは昨年度の当学会で PCR-RFLP 法による両種の種判別法を報告したが、本研究では、ムツおよびクロムツの分布域を調べるとともに、クロムツ幼魚の生育海域の探索を試みた。

【方法】ムツおよびクロムツの分布域を調べるため、日本海側および太平洋側の日本各地からムツ属試料を収集した。また、生育海域の探索のため、2007年5月から12月にかけて神奈川県三浦市および高知県土佐清水市沿岸で定置網によりムツ属幼魚試料を採取した。骨格筋から全 DNA を抽出した後、mtDNA にコードされる 16S rRNA 遺伝子の部分 DNA 断片を PCR 法により増幅し、*Eco*NI および *Mva*I を用いる RFLP 分析に供した。PCR-RFLP 法で判別できなかった試料は、当該 DNA 断片の塩基配列を決定し、種判別を行った。

【結果】日本各地で採取したムツ属試料の種判別を行ったところ、そのほとんどがムツであったが、伊豆半島および伊豆諸島近海で採取された試料にクロムツ試料が含まれていることが明らかとなった。クロムツ稚仔魚の生育海域を調べるため、神奈川県三浦市および高知県土佐清水市沿岸で採取したムツ属幼魚について、種判別を行った。その結果、高知県土佐清水市沿岸で採取したムツ属幼魚はすべてムツと同定された。一方、神奈川県三浦市で採取したムツ属幼魚は大部分がムツの PCR-RFLP パターンと一致したものの、8月に採取された試料のうち3個体がクロムツのパターンと一致した。以上の結果はクロムツの分布域が限られていることを示唆する。